



“Super Regional University” を目指して

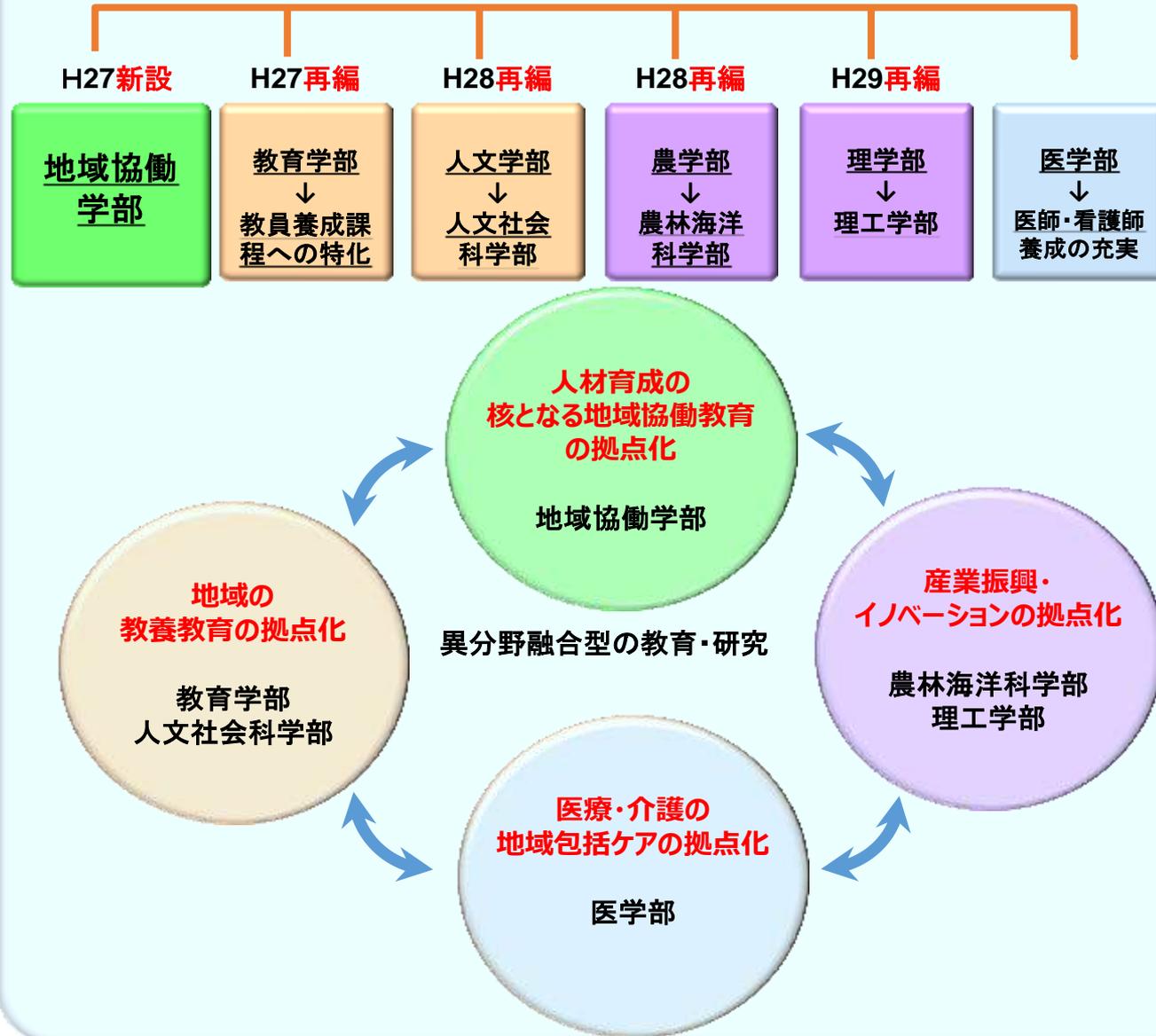
—地方創生系学部の先駆け—

国立大学法人 高知大学
理事（研究・医療担当）
本家 孝一

日中大学フォーラム in CHINA 2018
2018. 5. 13 広州

地域協働学部の創設（平成27年4月）

“地域を支える”高知大学



「地域協働」とは

地域の多様な人や組織が、立場や価値観の違いを越えて、共に考え行動する中で、価値観の共有化を図り、地域課題の調和的な解決方法を探り、新しい価値や創造物を産み出すこと

地域協働学部における人材育成

“地域協働型産業人材”の育成

6次産業化人

産業の地域協働
リーダー

行政の地域協働
リーダー

生活・文化の地域
協働リーダー

総合的・的確な判断力

粘り強さ・やり抜く力

地域協働マネジメント力

地域理解力

- ・状況把握
- ・共感
- ・情報収集・分析
- ・関係性理解
- ・論理的思考

企画立案力

- ・地域課題探求
- ・発想
- ・商品(事業)開発
- ・事業計画
- ・事業評価改善

協働実践力

- ・コミュニケーション
- ・行動持続
- ・リーダーシップ
- ・学習プロセス構築
- ・ファシリテーション

実習授業を軸にして 地域人材の育成に特化

学年ごとの積み上げ型教育プログラムで

「地域協働型産業人材」に必要な能力を着実に育成します。

学年末の学習成果報告会では、

企業経営者、社会起業家、NPO職員など

社会や地域の第一線で活躍する人たちに

アドバイスをもらいながら、

1年間の学習成果を整理します。



2年次

企画立案力を身につける

第1学期

地域協働 企画立案実習

地域課題・地域資源の発掘・分類・整理を行い、地域資源を活用して課題解決を図るための企画立案(商品開発・プロジェクト等)を行う。「地域理解力」に加え、「企画立案力」の基礎を固める。

具体的活動例

地域資源(地域課題)発掘・ワークショップの実施/地域活性化アイデアの創出/地域経済情報誌(地域商品、地域観光プラン、都市農村交流プロジェクト、地域観光力向上プラン)等

第2学期

事業企画 プロジェクト実習

地域資源を活用した商品化やプロジェクト・事業を実施する。商品開発・プロジェクトイベント等の事業計画の立案と実行を通じて、「企画立案力」を発展させる。

具体的活動例

事業計画策定(当該分野を使った新商品開発、都市農村交流プロジェクト、自然体験ツアーの実施、農家レストラン、公民館活用プラン)等

地域協働研究Ⅱ

学習成果報告会

3年次

協働実践力を身につける

第1学期

地域協働 マネジメント実習

「事業企画プロジェクト実習」において策定した事業計画を実践し、その結果について点検・評価を行い、改善に向けた評価結果の策定と自己評価を行う。やり抜く力とリーダーシップを育て、「協働実践力」の基礎を固める。

具体的活動例

農産物の加工・販売/地域イベントの実施/農家レストランの開設/都市農村交流の実施/自然体験ツアーの実施/高校活用プランの実施/上記の結果の振り返りと評価の実施等

第2学期

教える プロジェクト実習

実践とその評価結果を地域住民と一緒に共有し、改善案を検討するワークショップを学生が主体となって計画実施し、その取りまとめを行う。ファシリテーションや合意形成力を育成し、地域を巻き込み活動を進める「協働実践力」を身に付ける。

具体的活動例

商品開発・販売、イベント、ツアー等の評価/改善案検討ワークショップの実施/事業計画ブラッシュアップに向けたワークショップの実施/上記ワークショップ等の企画運営等

地域協働研究Ⅲ

4年次

地域協働マネジメント力の統合・深化

通年

地域協働実践

3年生までに実施した実習と学びを踏まえ、地域協働型プロジェクトの企画立案を行い、それを実践する。プロジェクトでは、協働パートナーを自ら見つけ、地域の特性を理解した上で、地域が有する様々な資源を活用できるための協働の組織化を行う。

卒業研究では、地域協働実践を通して得られた個人の知識を理論化し、各地域における地域再生・発展のためのエッセンスを明らかにする。

卒業研究

卒業研究発表会

学習成果報告会

人材育成プロセス

1年次

地域理解力を身につける

第1学期

課題探求実践セミナー

未知の町や村で何が起きているのか、地域の人たちは何を考えどのように行動しているのかをサーベillanceを通じて知り、地域に向き合う作法を身に付ける。

具体的活動例

祭りイベントの手伝い/地域振興の選択活動/田植え・農作業手伝い/異文化活動への参加/地域へのヒアリング等

第2学期

地域理解実習

地域住民等へのヒアリングやサーベillanceを通じて、地域の特性と課題、関係性を理解・分析し、「地域理解力」の基礎を固める。

具体的活動例

地域住民へのヒアリング/農産物販売(まち歩き)/地域アンケートの収集/分析/ワークショップの実施/異文化活動への参加/祭りイベントの手伝い等

学習成果報告会

地域協働研究Ⅰ

地域協働学部のカリキュラムは、フィールドワークが軸になることは間違いありませんが、実習だけを重視して知識軽視に陥ることがないように、文理横断型の幅広い講義・演習を通してバランスの取れた学習ができるように授業を配置しています。

「理論」と「実践」を両輪として、その往還を繰り返すことによってこそ、これからの社会に求められる「地域協働型産業人材」としてのチカラが身に付くのです。

地域協働学部 地域協働学学科カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目	<ul style="list-style-type: none"> 共通科目 教養科目 共通専門科目 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学習講座 地域計画論 行財政論 地域管理実務講座 公共利権マネジメント論 経営戦略 農村学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育講座 起業・経営実務講座 行政実務講座 実践情報伝達 金融・税務実務講座 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究発表会
専攻科目	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働論 地域協働論 地域社会学概論 農業論 経済学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働論 地域社会学概論 生活学概論 地域スポーツ概論 地域スポーツ社会学 環境社会学 コミュニケーション概論 	<ul style="list-style-type: none"> 国際ビジネス実務講座 地域産業実務講座 食品生化学 中心高度地域活性化論 環境農林水産物市場論 ソーシャルキャピタル論 地域実習 比較地域社会学 企業戦略論 環境文化論 事業経営学 地域生活と女性 海外サーベillance 海外特別演習 外国語特別演習 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究発表会
選択科目	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働研究Ⅰ 課題探求実践セミナー 地域理解実習 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働研究Ⅱ 地域協働企画立案実習 プロジェクトマネジメント実習 事業企画プロジェクト実習 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働研究Ⅲ 地域協働マネジメント実習 地域協働マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ 教えるプロジェクト実習 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究発表会

地域現場での実習・研究



実習フィールド Field



フィールドワーク
Field Work

山、海、むら、まち
すべてが教室

地域造形学部では、地域が抱える課題を実地に体験し、その解決に向けて地域住民と協働しながら具体的な解決策を考案、実施することを目的に、1年生から3年生まで、高知県内各地をフィールドとした600時間を超える実習科目が配置されています。

いの町
是友奥名地区自治会

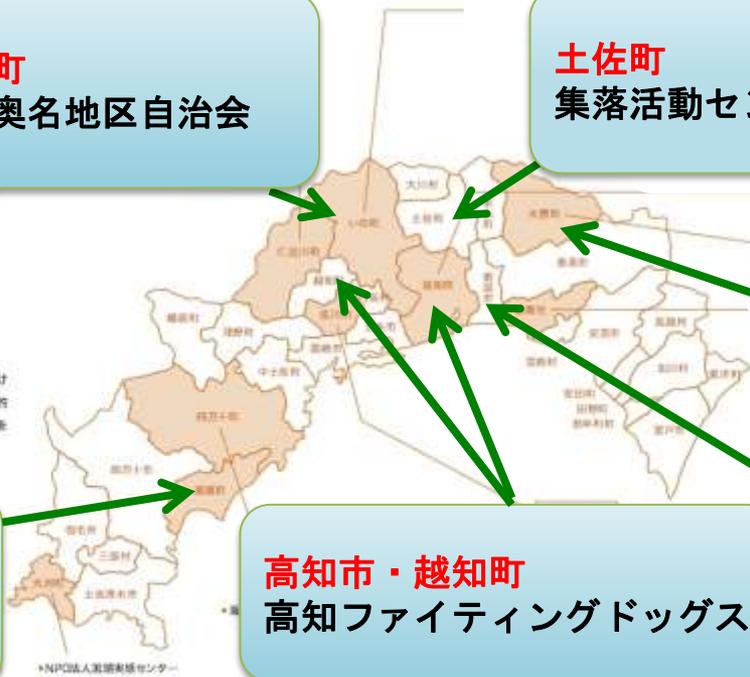
土佐町
集落活動センターいしはらの里

大豊町
西日本高速道路
エンジニアリング四国（株）
東豊永地区

黒潮町
NPO砂浜美術館

高知市・越知町
高知ファイティングドッグス

南国市
集落活動センター・チーム稲生



実習授業時間数(30コマ) = 学外(15コマ × 90分) + 学内(15コマ × 90分)

学外実習のべ時間数(210コマ) = 30コマ × 6クラス(地域)

高知大学(地方創生の視点から取り組む大学改革)の取組事例

〔背景〕

全国に15年先行して人口減少・高齢化社会に突入した高知県において、「**地産外商による雇用の創出**」が重要課題。大学に対する「**地域産業の振興につながる人材育成及び研究**」の期待。

〔取組概要〕

- ①教員及び学生が地域の中に飛び込み、課題解決に向けた地域づくりの推進
(エリア別に**地域コーディネーターを配置、地域産業の担い手を育成**)
- ②**産学官連携の強化**による地域イノベーション創出
- ③高い専門性と当事者意識を持った人材の育成 (**地域協働学部を創設、6次産業化を担う「地域協働型産業人材」を育成**)

〔地域コーディネーター・ 地域産業の担い手育成〕

◆県内4か所に地域コーディネーターの配置

地域の抱える課題(産業振興・中山間振興等)を掘り起し、課題解決に向けて産学官が一体になって取り組む。



【嶺北地域移住者】

＜梶 特任助教＞

移住者と地域の方々とのつながりやクラウドファンディングを活用した耕作放棄地再生に取り組む

◆地域産業の担い手育成(土佐FBC)

- 高知県の食料産業の中核を担う専門的人材及び食料産業の拡充に資する基礎人材を育成。
425名修了(平成29年3月末時点:1~9期生)
例:(株)南国スタイル 中村専務

〔産学官連携〕

◆(株)南国スタイル

・高知大学、JA、県、市が連携し、「電解水素水」を利用した次世代型園芸ハウスにおいて収穫される野菜を「還元野菜」として生産拡大

・還元野菜は収穫量の増加及びビタミン等の抗酸化成分を通常の野菜より多く含む野菜となり、**高付加価値化が期待される**



【(株)南国スタイル】

〔地域協働学部の創設〕

◆全国に先駆けて地域創生系学部を創設
(平成27年4月~)

◆1年次から地域現場での活動を徹底
(600時間実習)

◆入学定員60名、専任教員24名の少数精鋭教育

◆地域活性化への貢献

- ・学外実習授業で社会人と学生の「協働」の場を創出
- ・学生自ら地域に入り、地域活動を介して地域の課題と向き合い、課題解決に向けた地域づくりを実践

【活動事例】 <大豊ブルーベリープロジェクト>

地域・企業と協働し、商品開発による6次産業化・ブランド化の推進及びカフェの運営

・自治体、企業、実習先等が一体となった学部運営



【高知大学 地域協働学部】